



第91回 東京箱根間往復大学駅伝競走

箱根駅伝 結果報告

往路5位
復路14位
総合8位
11時間09分18秒
シード権獲得!



ご声援ありがとうございました!

HAKONE EKIDEN 2015

中央学院大学



激動の箱根路を8位でシード権獲得、 さらなるご声援をお願いいたします！

さとう ひであき
学長 佐藤 英明

中央学院大学駅伝部は見事にシード権を獲得し、14年連続の箱根駅伝出場を決めました。過去最高成績は2008年第84回大会の総合3位ですが、そのときのタイムは11時間11分05秒でした。今年はそれより2分近くも速かったにもかかわらず、総合順位は8位です。箱根駅伝は最近、特にレベルが上がってきていて、どの大学も力をつけてきています。順位も1年でガラッと変わってしまうような状況です。そうしたなかで予選会から勝ち上がり、このような成績を残す

ことができたのは、選手たちの日々の精進と、川崎監督をはじめとするスタッフの指導の賜物だと思います。レース本番でトラブルが発生するチームも少なくありません。予選会後の短い期間に本学の選手たちはしっかりとコンディションを調整し、指導スタッフが寄り添って選手の状態を的確に見極めることができたからこそ、こうした成績を残せたのだと思います。来年の出場も決まりましたので、これまで以上の応援をお願いいたします。

2014年11月2日(日)



第46回 全日本大学駅伝対校選手権大会

8区間 106.8km

愛知県・熱田神宮~三重県・伊勢神宮までの8区間106.8kmで行われた「第46回全日本大学駅伝」は14位と不本意な成績に終わった。チームは2ヶ月後に迫る箱根駅伝での雪辱を誓った。

14位 5時間27分53秒

2週間前に行われた箱根駅伝予選会の疲労もあり、2年連続となる全日本大学駅伝は序盤から苦戦した。箱根予選会チームトップの及川佑太(4年)が1区19位とブレーキしたからだ。それでも2区湊滝大記(3年)が6人抜き、3区海老澤剛(2年)もさらに6人をかわして、7位まで急上昇。シード権(6位以内)が近づいてきたが、4区で10位に後退。その後は、流れを取り戻すことができないまま、本来の力を出せず14位という結果に沈んだ。

川崎勇二監督は「駅伝になりませんでしたね。1区で出遅れたのがすべてです。箱根に向けて試した選手もいますが、合格点は与えられませんし、予選会も言い訳にはできません」とチームに檄を飛ばした。しかし、3区海老澤剛が区間トップに6秒差と迫ったことが自信につながり、キャリアの少ないメンバーが経験を積めたことも箱根での戦いに生きた。

個人成績

区間	選手	(学年 出身高校)	区間タイム	区間順位	通過順位
1区(14.6km)	及川 佑太	(4年 利府・宮城)	45'22"	19位	19位
2区(13.2km)	湊滝 大記	(3年 笠田・和歌山)	39'06"	5位	13位
3区(9.5km)	海老澤 剛	(2年 水城・茨城)	27'38"	3位	7位
4区(14.0km)	塩谷 桂大	(3年 那須拓陽・栃木)	42'11"	7位	10位
5区(11.6km)	大森 滯	(1年 関大北陽・大阪)	36'34"	18位	11位
6区(12.3km)	久保田 翼	(2年 関大北陽・大阪)	39'01"	19位	13位
7区(11.9km)	松下 弘大	(4年 銚子商業・千葉)	36'32"	13位	16位
8区(19.7km)	山本 拓巳	(3年 高岡向陵・富山)	1:01'29"	14位	14位



6人抜きを行った2区の湊滝大記(左)と同じく6人をかわした3区海老澤剛(右)



往路

高速レースが予想された1区は潰滝大記(3年)で勝負に出た。エースは攻めの走りを見せるが、ラスト勝負でやや後退。それでも5位と好スタートを切った。*花の2区、に抜擢された海老沢剛(2年)は順位を6つ落とすも、区間11位と好走。エース区間でのハンデを僅差で乗り越え、次の塩谷桂大(3年)で再び攻め込んだ。3年連続3区を任された塩谷は自身の持つ大学記録を48秒短縮。5人抜きの快走で6位に浮上した。4区村上優輝(2年)が苦しみながらも順位をキープすると、前回失速した5区及川佑太(4年)が奮起する。16km過ぎに1分22秒先行していた早稲田大学をかわして5



位に浮上、そのまま芦ノ湖のゴールに駆け込んだ。「及川は昨年の失敗を晴らす頑張りを見せてくれました。2区海老沢剛もよく走ってくれましたね。往路は5強の一角を崩すことができたので、満足とはいえませんが良くやれたかなと思います」と川崎監督は笑顔で前半戦を振り返った。

1

区 (21.3km)

つえ たき ひろ のり
潰滝 大記 (3年)

3年連続でスターターを託された潰滝は高速レースを果敢に攻め込んだ。終盤のスパートには対応できなかったが、トップから27秒差の5位と好発進。エースの役目を果たした。



2015年1月2日(金)・3日(土)



第91回 東京箱根間往復大学駅伝競走

10区間 217.1km(往路 : 107.5km、復路 : 109.6km)

総合8位 11時間
09分18秒

今大会は中央学院大学の活躍も眩しかった。1区、3区、5区でこれまでの大学記録を更新し、往路5時間32分26秒(本学新記録)で5位に躍り出る。復路は5時間36分52秒で14位。10区間217.1kmの戦いを11時間9分18秒(本学新記録)の総合8位で終えた。

復路

2日目はトップから8分28秒差で6区の本部誠人(4年)が駆け出した。その1分32秒後には14チームの一斉スタートとなり、見た目の順位と実際の順位を瞬時に把握することが難しくなった。木部は本来のスピードに乗り切れず、後続に飲み込まれた。7区海老沢太(2年)は設定タイムより早く走り、さらに復路の核として期待された8区の山本拓巳(3年)も区間8位とまとめ、4年連続の箱根路となる9区山田侑紀(4年)に上位進出の望みを託した。



しかし、山田のペースがなかなか上がらず、後続に詰め寄られる展開となって10区の久保田翼(2年)へ襷をつなぐ。久保田は、9人の汗が染み込んだ「襷」を掛けて懸命に走り抜き、2年ぶりのシード権獲得となる総合8位でゴールした。川崎監督は「本来ならシード圏外に弾き出されても仕方ない状況でしたが、よく踏みとどまったと思います」。そして、「4年生もよくチームをまとめてくれました。『ありがとう』と言いたいです」とシード権を残した4年生に感謝の言葉をかけた。

6

区 (20.8km)

き べ ま こ と
木部 誠人 (4年)

2年時から6区候補だったという木部が勝負の復路スタートを任された。区間賞を獲得した早稲田大学などに追い越されたが、最後の箱根の山を必死の形相で駆け降りました。



2 区 (23.1km)

え び さわ つよし 海老澤 剛 (2年)

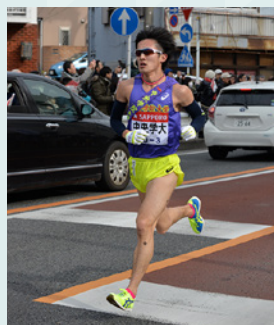
“花の2区。を言い渡されたときは驚いたという海老澤剛だが、格上の選手を相手に大健闘。順位を6つ落としたものの、有力大学のエースに食らい付き、区間11位と好走した。



3 区 (21.4km)

しお や けい た 塩谷 桂大 (3年)

3年連続の3区となった塩谷は期待通りの韋駄天ぶりを披露。前半突っ込むかたちで入ると、後半も粘りの走りを見せた。5人抜きを快走でチームを6位に押し上げた。



13 年連続16回目の出場となった中央学院大学は序盤の高速レースをしのいで4区終了時で6位と好位置につけた。勝負の5区を及川佑太(4年)が激走して、早稲田大学を抜き去り5位に浮上。初日の往路で11位以降の大学に3分以上の大差をつけた。復路は一斉スタートのチームが上位を走ったこともあり、実際の順位がわかりにくい状況になった。そのなかで、中央学院大学は踏ん張り、最後はアンカー久保田翼(2年)が歓喜のゴールに8位で飛び込んだ。1区から高速レースになった第91回大会は青山学院大学が初優勝。従来の大会記録を上回

る10時間49分27秒という驚異的なタイムで独走して、2位駒澤大学に10分50秒という大差をつけた。中央学院大学は往路5時間32分26秒(5位)、復路5時間36分52秒(14位)。総合11時間9分18秒(8位)で、前年わずか[57秒]届かなかったシード権を2年ぶりに獲得した。芝山智紀主将は、「力を出せた者と出せない者がいた。想いの違いが往路と復路の差につながったのかなと思います。この一年間を超える厳しさを自分自身に持ってもらえれば、来年は今回達成できなかった目標(6位以内)を達成できると信じています」と後輩たちにエールを送った。



7 区 (21.3km)

え び さわ ふとし 海老澤 太 (2年)

他大学の選手に抜かれて、少し弱気になってしまったという海老澤太。10km地点では兄の剛から給水を受け取り、初出場ながら持ち前の粘り強い走りで見事な流れを断ち切った。



8 区 (21.4km)

やまもと たく み 山本 拓巳 (3年)

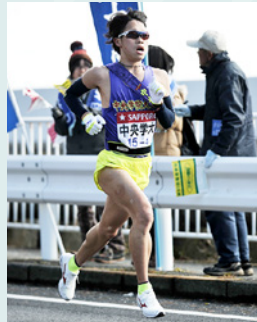
全日本大学駅伝でアンカーに抜擢されるなど監督から期待されてきた初出場の山本。ペースが上がらずに苦しんだが、区間8位とまとめ、シード圏内を目指す他大学を引き離れた。



4区 (18.5km)

むら かみ ゆう き
村上 優輝 (2年)

2年連続4区の村上は、前後を1万m28分台の選手に挟まれて混乱したという。思うようにペースが上がらず、苦戦するも6位をキープ。好位置で副将にタスクをつないだ。



5区 (23.2km)

おい かわ ゆう た
及川 佑太 (4年)

前回は区間18位に沈んだ及川だが、最後の箱根は力強かった。10km過ぎの腹痛に耐え、16km過ぎに早稲田大学を逆転。過去2番目となる5位で往路のゴールに飛び込んだ。



第91回大会 総合成績

総合順位	大学名	総合記録	総合順位	大学名	総合記録
1位	青山学院大学	10時間49分27秒	11位	帝京大学	11時間13分30秒
2位	駒澤大学	11時間00分17秒	12位	順天堂大学	11時間13分32秒
3位	東洋大学	11時間01分22秒	13位	日本大学	11時間17分59秒
4位	明治大学	11時間01分57秒	14位	國學院大学	11時間18分12秒
5位	早稲田大学	11時間02分15秒	15位	日本体育大学	11時間18分24秒
6位	東海大学	11時間07分08秒	16位	拓殖大学	11時間18分24秒
7位	城西大学	11時間08分15秒	17位	神奈川大学	11時間18分47秒
8位	中央学院大学	11時間09分18秒	18位	上武大学	11時間18分53秒
9位	山梨学院大学	11時間10分43秒	19位	中央大学	11時間20分51秒
10位	大東文化大学	11時間11分15秒	20位	創価大学	11時間31分40秒
	オープン参加			関東学生連合	11時間19分12秒

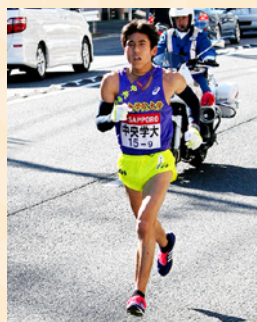
中央学院大学 個人成績

区 間	選 手 名	記録(区間順位)
1区 (21.3 km)	潰滝 大記 法学部3年	1時間02分27秒 (5位)
2区 (23.1 km)	海老澤 剛 法学部2年	1時間09分30秒 (11位)
3区 (21.4 km)	塩谷 桂大 法学部3年	1時間03分07秒 (4位)
4区 (18.5 km)	村上 優輝 法学部2年	57分35秒 (15位)
5区 (23.2 km)	及川 佑太 法学部4年	1時間19分47秒 (3位)
6区 (20.8 km)	木部 誠人 法学部4年	1時間01分16秒 (16位)
7区 (21.3 km)	海老澤 太 法学部2年	1時間05分17秒 (11位)
8区 (21.4 km)	山本 拓巳 法学部3年	1時間06分24秒 (8位)
9区 (23.1 km)	山田 侑紀 法学部4年	1時間12分06秒 (16位)
10区 (23.0 km)	久保田 翼 法学部2年	1時間11分49秒 (14位)

9区 (23.1km)

やま だ ゆう き
山田 侑紀 (4年)

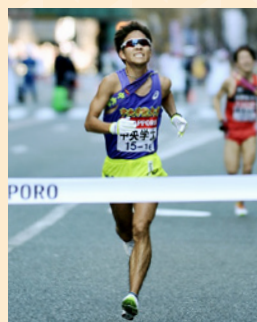
春先からの故障で走れない日々が続き、とても苦しんだ一年であった山田。しかし、4年連続で箱根駅伝の復路に起用され、4年生の意地を見せて最後まで力走した。



10区 (23.0km)

く ぼ た つばさ
久保田 翼 (2年)

初出場の久保田は、復路一斉スタートの影響で順位がわからず、不安のなかを駆け抜けた。順位を一つ落としたものの、2年ぶりのシード権獲得となる総合8位でゴールした。





熱い気持ちを胸に さらに上を目指して精進していきます!

かわさき ゆうじ
駅伝部監督 **川崎 勇二**

中央学院大学に奉職して、ちょうど30年になります。13年連続16回の出場を果たすなど、半分以上を箱根駅伝に費やしてきました。私もいつの間にか50歳を過ぎまして、心身ともにきついものがあります。いつまで続くのかという思いでやらせていただきましたが、まだ学生には負ける気がしません。私の方が熱い情熱を持っているような気がします。選手たちはまだ「想い」が足りない。今回は8位に入り、シード権を獲得することができました。しかし、どこかモヤモヤ感が残る、悔しい大会でもあった

と思います。

往路はほぼ予定通りでしたが、復路では走るべき選手が走らなかった。そこが「想い」の差だと痛感しています。ただ「5強、対決」とわれていた今大会で、その一角を往路では崩すことができました。改めて、我々でも上位に食い込むチャンスがあることを確信しました。シード権を獲得したからといって安心するのではなく、1年間かけて、さらに上を目指せるように精進して参りますので、今後ともご協力とご支援をお願いいたします。

出場選手のコメント



つえたき ひろのり
1区 潰滝 大記 (法学部3年/笠田/和歌山)

いい流れをつくるのが自分の役割だったので個人的には納得していません。往路5位という結果はちょっとビックリしていますが、来年はもっと上を目指します。



き べ まこと
6区 木部 誠人 (法学部4年/桂/京都)

復路の流れをつくるのが自分の役目でしたが、設定タイムよりも遅く悔しい気持ちが強いです。シード権を獲得できたのが救い。往路のメンバーに感謝したいです。



え び さわ つよし
2区 海老澤 剛 (法学部2年/水城/茨城)

不安もありましたが、監督の指示通りに自分ができる走りを心がけました。手応えも感じたので、今回の経験を生かして、来年は2区でしっかり戦いたいです。



え び さわ ふとし
7区 海老澤 太 (法学部2年/水城/茨城)

順位を一つ落としてしまったので、もう少し粘りたかったです。でも、設定タイムより13秒良かったので、自分では良い走りができたと思います。



しおや けいた
3区 塩谷 桂大 (法学部3年/那須拓陽/栃木)

2区の剛が我慢して自分が追いつける形だったので予定通りでした。設定タイムよりも23秒速く走れましたが、区間賞を狙うにはまだ足りなかったです。



やまもと たくみ
8区 山本 拓巳 (法学部3年/高岡向陵/富山)

総合6位を目指していたので、とても悔しいです。予定より20秒ほど遅く、チームに迷惑をかけてしまいました。今後は期待に応えられる選手になりたいです。



むらかみ ゆうき
4区 村上 優輝 (法学部2年/西脇工/兵庫)

往路5位は嬉しく思いますが、自分自身は昨年のタイムよりも30秒ほど遅く、貯金を使っていました。来年こそ、チームに貢献したいと思います。



やまだ ゆうき
9区 山田 侑紀 (法学部4年/飾磨工/兵庫)

序盤からきつくて、チームの足を引っ張る走りになってしまいました。往路のメンバーが4人残るので、来年は今回以上の成績を残してくれると信じています。



おいかわ ゆうた
5区 及川 佑太 (法学部4年/利府/宮城)

前回は不本意な結果でしたが、今年はそのリベンジを果たすことができました。自分の力で5強の一角を崩すことができたので嬉しかったです。



く ぼ た つばさ
10区 久保田 翼 (法学部2年/関大北陽/大阪)

途中ペースダウンしたことに気付かず走るなど反省点が多かったです。来年はさらに上の順位を狙って、自分たちが4年生の時にはトップ3を目指したいです。